

# 小平市 農業委員会だより



平成29年3月(2017年)

発行：小平市農業委員会 〒187-8701 小平市小川町2丁目1333番地  
電話：042-346-9533(直通) FAX：042-346-9575

第18号



↑小平市野菜組合製作による宝船

11月12日、13日に2日間とも晴天の中、小平市産業まつりが福祉社会館前市民広場にて開催されました。2日間の来場者数は、去年よりも増加し、約5万5千人の多くの方に来ていただきました。  
会場では、品評会出展の農産物を求めて、長蛇の列が出来ており、来場者の中には近隣市を巡り産業まつりを比較している方や、小平市外から、小平の産業まつりが一番好きで毎年通っている方もいるようです。

## 第28回小平市産業まつり

(平成28年11月12・13日)



品評会出展の農産物を求める長蛇の列

来場者に産業まつりに対する意見などを聞いてみると、冬場の葉物野菜の価格が高騰している中で、新鮮な野菜が買えるというのは大変ありがたいという声が多くありました。その他にも、市内農産物が一堂に並べてあることで市内農業の様子が見えるなど様々な声を頂き、来場者の産業まつりへの期待も感じたとのことです。

農業委員会では、例年通り、来場者に対して農産物の育て方等の相談に応じるブースを設け、具体的な疑問に対して回答する形でPRを行いました。  
今後とも農業委員会は市内農業の活性化に努めてまいります。



農産物の育て方相談会の様子

### ★もくじ★

- 2 ページ
- ☆小平のピカイチ
- 3 ページ
- ☆農業委員会の活動  
について
- 4 ページ
- ☆農業トピックス

# 小平の ピカイチ



←家族の肖像

良く晴れた冬至の日 回田町の川島家を訪問しました。  
「冬なので、野菜が無いんです。」と言われながら、仲の良いご家族に綺麗に管理された畑でお話を伺いました。



↑きれいに整ったビニールトンネル

## 名コンビ

無口で穏やかな川島治光さんと、かく明るい京子さんご夫妻は、名コンビです。玉川上水 五日市街道に面した川島宅は、小平市の特徴でもある短冊型の農地で、冬野菜の代表格ホウレン草やキャベツが育っていました。京子さんはサラリーマン家庭から嫁いだそうです。苦勞も多かったのでは？と聞くと、明るく笑いながら、「お義母さんに一から教わりました。なにも知らなかったからやって来たのかもしれないね」と言われていたことが印象的でした。

## ★ 大地に根を張って

当代で8代目との事ですが、かつては養鶏場もされていたそうです。敷地内には、用水路と共に、水の神様も祀られていて、暮らしがにぎやかです。小平市の農家には、どこにも用水路が曲がりながら通っていますが、残念なことに、今は殆どの用水路に水がありません。記者の私が小さい頃は、水量が豊富で、溺れたこともある程でした。そんなことを自然と思い出しました。

★ 育てているのは、現在は10種類ほどの野菜。市場出荷と庭先販売が主な販売ルートとのこと。  
★ インタビュー中にも、常連さんが「キャベツ無いかしら」と来られて、京子さんが包丁を持って畑に走る場面もあり、微笑ましい映像でした。  
★ ご夫妻と共に従事する9代目の拓也さん。どこでも悩まされる後継者問題は、クリアされています。

す。「どうして農業を継ごうと思ったのですか？」と伺うと「必然的に継ぎました。」という答えでした。ご両親からは「継いで欲しい」とは一度も言っていないそうですが、背中を見てやってみようと思ったのでしょうか。

拓也さんは農業を生業としてから、青壮年部の活動にも積極的に参加しているそうです。「仲間がいることが、こんなに良いとは思わなかった。活動は大変だけど、つながることのありがたみを感じている」と、三人がそれぞれに語ってくれました。

拓也さんの趣味はドライブ。「週に一度の休みの日には、愛車であちこちに出掛けるのが楽しみ」と語ってくれました。普段はその車をトラクターに乗り換えて、腕をふるっています。前職の造園の知識も生かしながら、颯爽たる後継者は、「よっ九代目ー」といいたくなるようです。次の世代につながることを確信し、頼もしい限りです。



↑芽吹いたホウレン草

## オマケ

とにかく明るい京子さん。とてもフレンドリーです。一番うれしいことは、何うと高く売れた時」と一言。報われる気がするそうです。納得です。

# 農業委員会の活動について

農業委員の活動は、農業委員会組織が果たす役割の中で、現場業務が重要です。最大の使命は、農地の利用最適化にあり、計画的に農地パトロールを実施しています。

農地は、転用や相続などの税務上の手続きで、農業委員会への届出が必要になります。農業委員は、農地の状況確認をし、管理が適正であるか調査を行います。結果は、毎月の農業委員会総会で報告。他の委員とも情報を共有し、今後の対策を共に考えます。



日々農地パトロールを実施しています。

※画像はイメージです

農業委員の活動には、農家の経営継続と農地保全が求められています。法律改正で、農業委員会業務についても、建議から、意見書の提出に変わりました。委員の選出方法も、選挙や選任によるものから、公募を行い、議会の同意を得て、市長が任命することとなりました。

平成28年4月より、農業委員会等に関する法律の改正が施行され、新たな農業委員会制度がはじまりました。小平市では、本年7月より新制度のもと、農業委員の改選が行われます。そこで、農業委員がどのような活動をしているのかを、ご紹介いたします。



## 農業委員会総会（毎月20日前後に開催）

### （主な内容）

- 制度適用農地の現地調査報告と、証明発行の是非の決定
- 農地転用等の届出に対する受理証明書発行の報告

小平の農地は、年々減少し、このままでは「すきま農業」になってしまいます。

農業委員として望むのは、「元気でスリムな小平農業。規模は小さくも経営感覚に優れている。」「そして「農地よし、農家よし、市民よし。」「です。小平らしさは、小回りのきく農業経営の行く先にあると思います。



←市民に好評の即売会に並び小平産の新鮮な野菜

# 農 業 ト ピ ッ ク ス

## 小平ファーマーズ・マーケット

オープン!!

JA東京むさし小平支店の農産物直売所小平ファーマーズ・マーケットが10月15日にオープンしました。オープン前から長蛇の列ができ、大盛況でした。

ファーマーズ・マーケットでは、新鮮・良質な小平産農産物、花卉や加工品、市商工会認定のコダイラ・ブランドの商品などが販売されています。



↑秋晴れの下で

## 東京都指導農業者が誕生しました!

東京都では、平成28年度より、農身体験研修や農業技術研修を通して、農業の担い手の育成・指導に取り組み先進的な農業者を指導農業者として認定する、東京都指導農業者制度が実施されています。

今年度、東京都で最初の指導農業者として、43名が認定され、小平市からも6名の指導農業者が誕生しました。

### 【平成28年度指導農業者認定者】

- 内堀 眞一 氏
- 小野 義雄 氏
- 小野 久枝 氏
- 小林 幸夫 氏
- 中村 利行 氏
- 藤森 英明 氏

今後、認定農業者を対象に、指導農業者制度の紹介を行う予定です。



# ク ス

## ご案内

全国農業新聞の購読を週刊発行の農業専門誌

全国農業新聞は、農業委員会系統組織が発行する農業総合専門誌です。農業経営と、暮らしに役立つ情報をお届けしています。最新の農政情報や地域の特徴ある明るい話題など楽しめる記事が充実しています。

購読料：1ヶ月700円  
申込み：農業委員または

農業委員会事務局へ

## ご案内

農業者年金のおしらせ  
加入で大きなメリットを

農業者年金は国民年金に上乗せした公的な年金制度です。支払った保険料は社会保険料控除の対象になり、所得税、住民税が節税になるメリットがあります。

### 加入できる人

- 国民年金第1号被保険者
- 農業に年間60日以上従事する者

\*詳しい情報は、農業者年金基金ホームページをご覧ください。

農地を転用する際には届出が必要です。農地を宅地等他の用途へ転用する際には、農業委員会への届出が必要です。

- ・5条転用：売買や賃貸借等により、所有権の移転を伴う転用の場合。
- ・4条転用：所有者は変わらず、転用する場合。

届出書は農業委員会事務局、小平市ホームページにて入手することができます。ご不明な点は、農業委員会事務局へお問い合わせください。

## 編集後記

ピカイチで川島家に行きました。ご夫婦の明るい事、そして、後継者の拓也君が居る事で安心です!!

昨年色々な農地を見て廻りました。良く手入れされた畑、何らかの理由で行き届いていない畑・・・

是非とも農地の有効利用と維持・管理をお願いします。

### 【編集委員】

- 津本 裕子
- 浅見 三三
- 竹内 義雄
- 石毛 航太郎

(竹内 義雄)